

シーボーグ400FBe/ハイパータナコン400FBe/ ハイパータナコン400F/レオブリッツS400

道糸をリールに巻きます「下巻き入力」

ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

1. リールを通电させ、パワーレバーをMAXの位置まで倒し、下巻き糸を適量まで巻いてください。

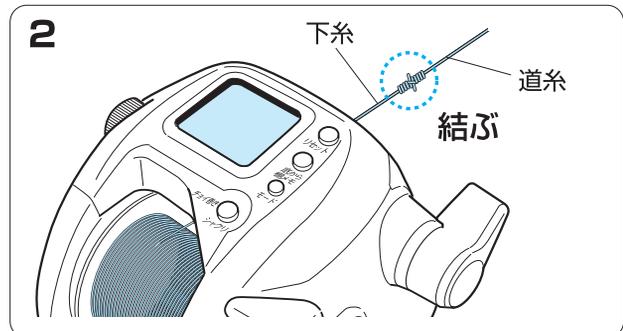
※標準巻糸量設定は、PEライン専用となっております。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンを利用して巻きつけてください。



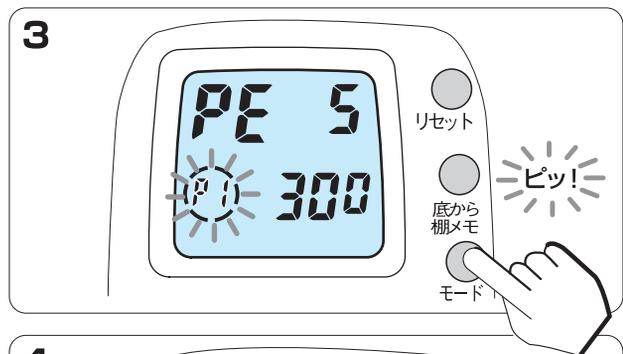
2. 道糸と下巻き糸を結び、道糸の色を見ながら残り100mまで巻取ります。

※用意した道糸量が100mの場合は、3へ。



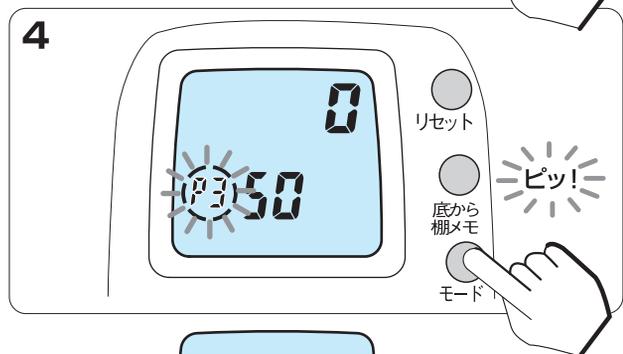
3. **モード** スイッチを5秒以上押します。

(指定入力画面になり **P1** が点滅します。)



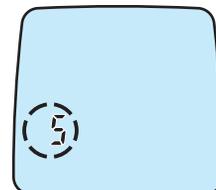
4. さらに **モード** スイッチを2回押すと下巻きモードになります。

(**P3** が点滅します。)



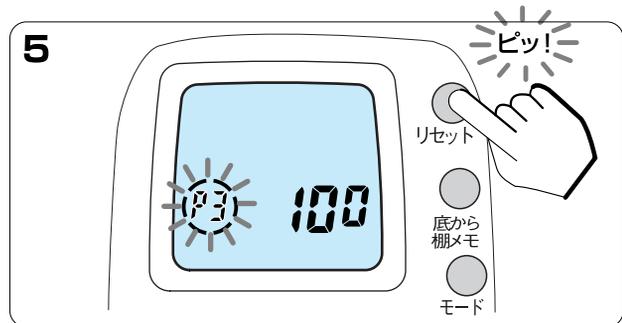
パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整して巻いてください。

※フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらぬようにご注意ください。



5.道糸の色に注意しながら50m巻き取り、**リセット** スイッチを2秒以上押してください。

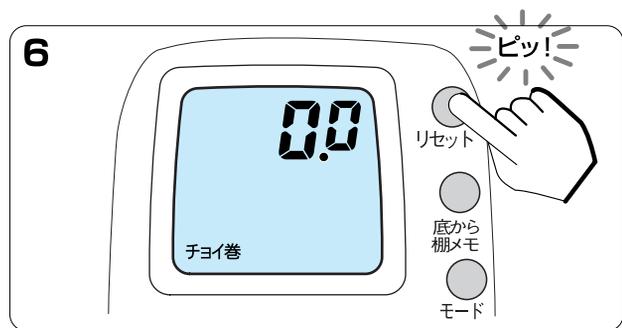
(下の数字が50から100にかかります。)



6.道同様に残りの50m巻き、**リセット** スイッチを2秒以上押してください。

(表示が **0.0** になり、完了です。)

※ **Err** になった場合は、再度入力をしてください。
モード スイッチを押せば、**0.0** に戻ります。)



シーボーグ400FBe/ハイパータナコン400FBe/ ハイパータナコン400F/レオブリッツS400

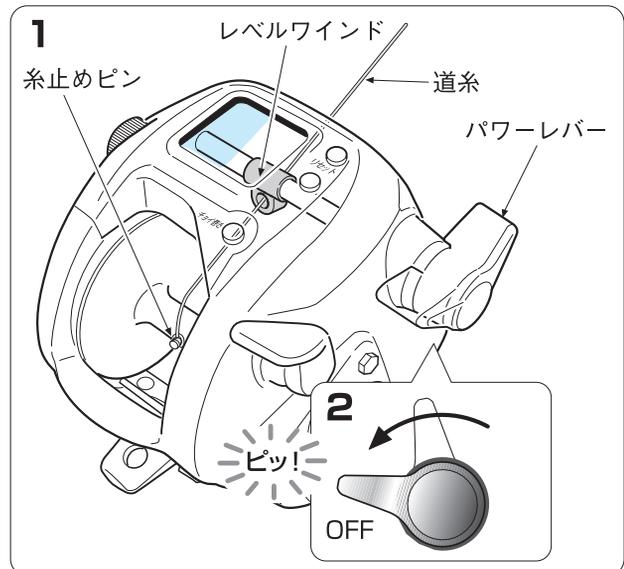
道糸をリールに巻きます「指定入力編」

指定入力とは当社棚センサーブライツを巻くとき、データをインプットするだけで道糸入力できる便利な方法です。ただし、下記の場合のみ可能です。

- ・下巻きをしない場合
- ・表に記載されている号数および巻き糸量の場合

1. 道糸をレベルウィンドに通してスプールに結んでください。

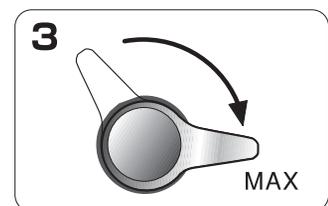
- ※付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。
- ※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。



2. パワーレバーをOFFまで戻します。

3. リールを通电させ、パワーレバーをMAXの位置まで倒し最後まで道糸を巻いてください。

- ※道糸は約1kgのテンションで巻いてください。
- ※糸を巻き込まないように注意してください。
- ※フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらぬようご注意ください。

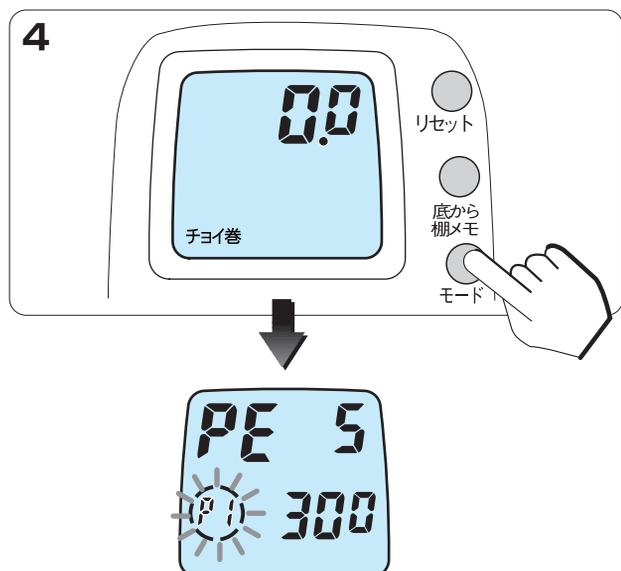


4. 表示が 0.0 のときに モード スイッチを5秒間押し続けてください。

5. 初期設定PE5号-300mの画面になり P1 が点滅します。

6. パワーレバーで、数値をセットし、モード スイッチを押せば完了です。

(0.0 に戻ります。)





PE（左上の表示がPEの場合）（m）					
3号	100	200	300	400	430
4号	100	200	300	350	
5号	100	200	300		
6号	100	200	220		

※ハイパータナコン、シーボグ400FBeには、あらかじめタナセンサーブライツ5号-300mのデータが入力されています。タナセンサーブライツ5号-300m巻く場合は、データのインプットは不要です。

※標準巻糸量設定は、PEライン専用となっております。

シーボーグ400FBe/ハイパータナコン400FBe/ ハイパータナコン400F/レオブリッツS400

道糸をリールに巻きます「リールに巻く糸の長さがわかる編」

リールに巻く糸の長さがわかっている時に便利な方法です。
当社棚センサーブライト以外の道糸を巻く場合は、この方法で入力してください。

1.道糸をレベルwindに通してスプールに結んでください。

※標準巻糸量設定は、PEライン専用となっております。

※付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。

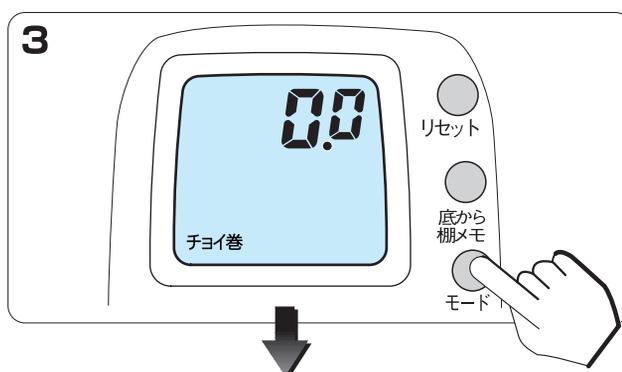
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

2.パワーレバーをOFFまで戻します。

3.リールを通电させ表示が **0.0** のときに **モード** スイッチを5秒間押し続けてください。

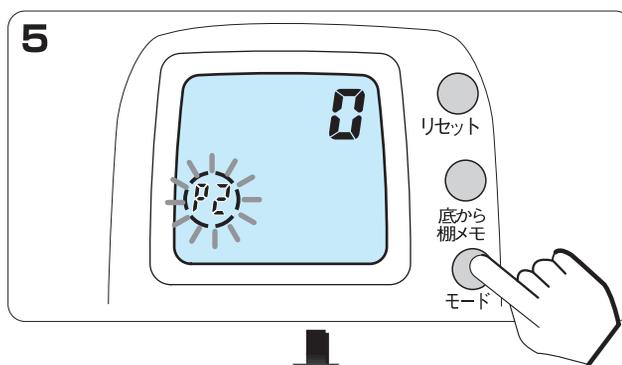
4.初期画面になります。

(**P1** が点滅します。)



5.もう一度 **モード** スイッチを押します。

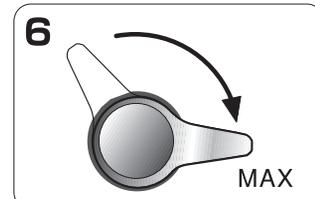
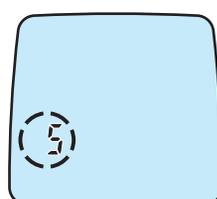
(**P2** が点滅します。)



6.パワーレバーをMAXの位置まで倒して道糸を巻きます。

パワーレバーを倒すとテンション表示に変わります。

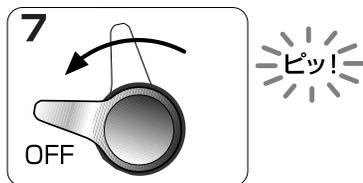
パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整して巻いてください。



※フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。

糸があたらないようにご注意ください。

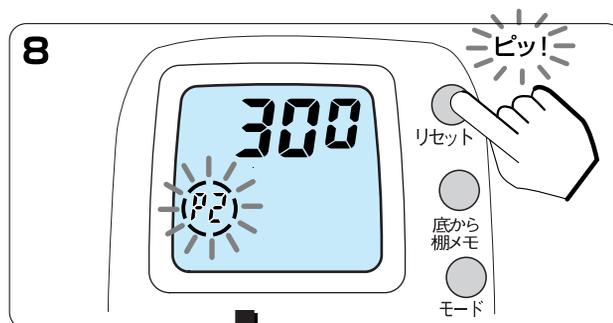
7. 巻き終わったらレバーをOFF位置まで戻します。(アラーム音)



・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。

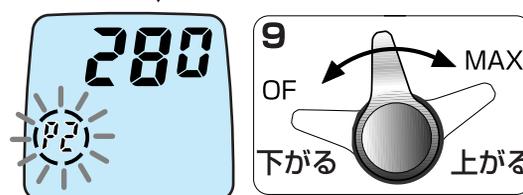


8. **リセット** スイッチを2秒以上、表示が**300** になるまで押してください。



9. パワーレバーで、道糸の長さをセットします。

(図は、280m入力した場合です。)



10. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

(アラーム音が鳴り、表示が **0.0** になれば完了です。)

※ **Err** になった場合は、再度入力をしてください。**モード** スイッチを押せば、**0.0** に戻ります。)

